

5 地球規模の環境問題の解決に向けた取組への支援について

長野県の状況

● G20エネルギーと環境の関係閣僚会合が軽井沢町で開催

- ・ 本年6月15日・16日に「G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」が軽井沢町で開催され、地球規模の環境問題の解決に向けた議論が行われた
- ・ 開催県として、**気候変動やプラスチック廃棄物等の地球規模の課題に、世界中の自治体が協働して取り組むことを呼びかける「持続可能な社会づくりのための協働に関する長野宣言」**をイクレイ日本とともにとりまとめ、原田環境大臣に手交した

取組

○長野宣言の概要

コンセプト

「地域循環共生圏」の国際展開による持続可能な社会づくり

【地方政府が協働する事項】

地域における官民の枠を越えた活動を通じて、気候変動対策に取り組み、地域循環共生圏の実現を追求する等 全6項目

【G20各国に呼びかける事項】

健全な環境、低炭素、循環型かつ強靱な社会実現のための財政及び技術支援等 全9項目

○気候変動問題への取組

- ・ **長野県環境エネルギー戦略の推進** (2013.2-) 低炭素杯2016ベスト長期目標賞大賞 (自治体部門) 受賞

温室効果ガス排出量目標 2015年度 +4.0% → 2020年度 ▲10% → 2050年度 **▲80%** (1990年度比)

▶省エネ化の促進

▶再生可能エネルギーの普及拡大

▶総合的な地球温暖化対策 (適応策)

＜長野宣言への賛同状況＞
130自治体等 (国内95、海外35)
※2019年9月1日現在



G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合 (軽井沢町)

○プラスチック廃棄物問題への対応

・信州プラスチックスマート運動の推進

協力事業者の登録
クリーン信州FORザ・ブルー（河川一斉清掃）の実施
海洋プラスチック廃棄物問題に関する新聞広告等による啓発 など

太平洋、日本海に流れ込む
河川を有する上流県の責務
としての取組を実施



課題

- 猛暑や台風、集中豪雨、洪水など地球温暖化に起因するといわれる災害が多発しており、人間社会や自然界にとって著しい脅威となっていることを、**国民一人ひとりが眼前の課題として認識**することが必要
- 県ではすべての住宅屋根の太陽光発電ポテンシャルをホームページで公開する「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」を整備し、太陽光発電の普及を積極的に推進しているが、**住宅や事業所の屋根への設置が広まらない**
- 新築住宅は、条例による環境エネルギー性能検討制度により、全国に比べて断熱性能に配慮した住宅の建設が進んでいるが、**既存住宅のエネルギー性能の向上が課題**
- 石油資源由来のプラスチック素材について、**バイオマスプラスチックや紙等への代替**を図ることが必要

提案・要望

地球規模の環境問題を解決するための支援

1 気候変動問題解決に向けた取組への支援充実

- ・ 気候変動が我々の時代の差し迫った課題であることを**国民一人ひとりが認識し行動変容につなげる**ため、**環境省がリーダーシップ**をとり、**国を挙げて温暖化対策に取り組む機運を醸成**すること
- ・ 信州屋根ソーラーポテンシャルマップを活かして、一層住宅や事業所の屋根での太陽光発電設備の設置を推進するため、屋根を借りて太陽光発電事業を行う事業者を支援する**収益納付型補助金制度の創設**等を行うこと
- ・ 家庭部門の温室効果ガス排出削減に向け、**既存住宅の断熱改修が促進**されるよう、**関係省庁一体となって具体的な促進策を検討**すること

2 プラスチック廃棄物対策の充実

- ・ バイオマスプラスチック等の**プラスチック代替品の開発や導入に取り組む事業者等に対する支援の充実**など、使い捨てプラスチック等の使用削減や**代替素材の普及を加速化**すること